



島根県立美術館 ニュース

NEWS

vol. 106

この画家、
規格外!!



図1:《画人生涯筆一管》昭和初期 大田区立龍子記念館蔵

企画展

誕生140周年 川端龍子展

「日本画」とは何か？

画人生涯筆一管

1929（昭和4）年、川端龍子は若い頃から所属していた再興日本美術院を脱退し、自らの美術団体・青龍社を設立します。

その頃に制作されたと考えられる掛軸が、《画人生涯筆一管》（図1）。龍子にしては珍しい、文字だけが記された作品です。直訳すれば、画人の生涯は筆一本という意味でしょうか。団体のなかで安定した地位を求めるよりも、画家としての人生に筆だけで挑戦していくのだ——龍子の壮絶なる覚悟を感じる一幅です。

龍子にとって、人生は挑戦の日々でした。「龍子」という雅号ひとつをとっても、その生き様を感じ取ることができます。

龍の落とした子

1885（明治18）年6月6日、信吉と

勢以のもと、川端龍子は和歌山市本町の呉服店の長男として生をうけました。本名は昇太郎。10歳までは和歌山に住み、その後、父親の仕事の関係で東京へ引っ越します。

東京において学生生活を送るなかで図画への興味が高じた昇太郎は、読売新聞が主催した挿絵の公募展に応募。2点の作品が入選を果たします。この時の成功体験がきっかけとなり、画家という職業を意識するようになりました。息子を医者にしようと考えていた父親の反対にあいつつも、昇太郎は白馬会洋画研究所に通い始めます。

この頃、徴兵検査に必要な書類を提出するため、昇太郎は戸籍謄本を取得します。そこには、自らの知られざる出生の秘密が記されていました。家庭の事情が絡んだ結果の表記ではあったものの、彼は父親への嫌悪感を抑えることができませんでした。

「俺は龍の落した子なのだ」——強い反



図2:《狩人の幻想》1948(昭和23)年 和歌山県立近代美術館蔵

関連企画

オープニングギャラリートーク 要企画展観覧料

講 師 木村拓也氏(大田区立龍子記念館 副館長兼学芸員)
日 時 7月18日(金)10:00頃～
会 場 企画展示室

記念講演会 聴講無料

「日本画家・川端龍子の会場芸術」

講 師 木村拓也氏
日 時 7月19日(土) 14:00～(13:30開場／約90分)
会 場 ホール(190席・当日先着順)

美術講座 聴講無料

「川端龍子と落合朗風」

講 師 五味俊品(当館主任学芸員)
日 時 8月10日(日) 14:00～(13:30開場／約90分)
会 場 ホール(190席・当日先着順)

ギャラリートーク 要企画展観覧料

当館担当学芸員による展示解説

日 時 7月27日(日)、8月16日(土) 各日14:00～(約60分)
会 場 企画展示室

2025年
7月18日(金)→8月25日(月)

開館時間 10:00～日没後30分(展示室への入場は日没時刻まで)
休館日 火曜日

川端龍子(1885～1966)は、大正期から昭和期にかけて活躍した日本画家です。本展では、高等小学校時代の手習い書から最後の青龍社展出品作までの作品群を通して、80年という生涯のなかで龍子がどのような「日本画」の姿を探索していったのか考えていきます。

【観覧料】

オンラインチケット・ローソンチケット[企画展+コレクション展セット]

一般:1,100円、大学生:800円、小中高生:400円

当日券[企画展+コレクション展セット]

一般:1,450(1,160)円、大学生:1,100(880)円、小中高生:500(400)円

●オンラインチケットはホームページより、ローソンチケットはローソン各店にてお求めになれます(ローソンチケット/Lコード62267)●未就学児無料●()内は団体料金●小中高生の学校教育活動での観覧は無料●身体障害者手帳(障害者手帳 アプリ:ミライロID)、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、被爆者健康手帳をお持ちの方、及びその付添の方は1名まで無料

主 催:島根県立美術館、日本海テレビ、山陰中央新報社、SPSしまねグループ
後 援:朝日新聞松江総局、毎日新聞松江支局、読売新聞松江支局、産経新聞社、
中国新聞社、新日本海新聞社、島根日日新聞社、NHK松江放送局、
TSKさんいん中央テレビ、BSS山陰放送、エフエム山陰、山陰ケーブルビジョン
特別協力:大田区立龍子記念館
企画協力:株式会社アートワン

※掲載作品の作者はすべて川端龍子



《狩祭》1949(昭和24)年 大田区立龍子記念館蔵

発心と新たな決意から、昇太郎は「龍子」という名前を使い始めたのです。

格闘の日々

自らの手で立ち上げた青龍社が創立20周年を迎えた1948(昭和23)年、龍子は《狩人の幻想》(図2)という大作を発表します。イノシシにまたがった三目六臂の青い明王が、鹿を捕縛し、鳥に矢を放つ場面を描いた不思議な作品です。草むらのなかではキジやウサギ、ウズラなどが逃げ惑い、暴れるイノシシの左後ろ脚には犬が噛みつきま

す。龍子が大型作品を発表し始めた昭和初期は、多くの絵画団体が登場し、画壇の覇権

を争っていた時代です。社会的権威を有する帝国美術院、龍子もかつて所属した再興日本美術院、そして実力ある様々な小規模団体——青龍社の盟主としてまさしく八面六臂の活躍をしてきた自身の姿を、中心人物に重ね合わせたのかもしれない。

龍子の生涯は、「日本画」という既存イメージとの格闘の日々でありました。伝統的な「日本画」の概念を打ち壊す作品を龍子はいかにしてうみだし、そして「日本画」をどのように発展させようと試みたのか——会場にて、「規格外」の「日本画」の姿を是非ご覧ください。

(主任学芸員 五味俊品)

コレクション展

観覧料

一般	300円
大学生	200円
高校生以下	無料

○ミュージアムパスポートをご使用いただけます。
○企画展と同日に観覧の場合は半額

新たな「日本画」への挑戦

—龍子との違いはどこ？—

昨年度、企画展を開催した島根ゆかりの日本画家・落合朗風（1896-1937）。その際は、朗風と川端龍子の作品を同時に展示することはできませんでした。ふたりの間には深い関係性がありました。というのも、1931（昭和6）年から34年までの約3年間、朗風は龍子の主催する青龍社に所属していたからです。

ただ朗風は、青龍社に加入する以前から龍子の画風に強い関心を抱いていたようです。例えば、朗風が1921（大正10）年に発表した《瘦馬・肥牛》。本作を際立たせている特徴のひとつに、馬を描く際に用いた金色や群青の使い方があります。金色を黄色のヴァリエーションとして積極的に用いた龍子の影響が、朗風の大胆な色彩感覚の背後にあったことは想像に難くありません。

本展では、当館が所蔵する落合朗風の代表作だけでなく、昨年の展覧会をきっかけに新たに収蔵・寄託された作品もあわせて展示いたします。

朗風と龍子の作品を比較して見ることで、極めて珍しい機会です。少し疲れるかもしれませんが、1階と2階の会場を行きつ戻りつしながら、それぞれの魅力については是非考えてみてください。

（主任学芸員 五味俊昌）



新収蔵作品 落合朗風《茶郷二題》1934（昭和9）年

展示室 1 近世絵画 日本画

第2期 落合朗風

7月2日〔水〕－8月18日〔月〕

北斎コレクション

展示室 2 北斎

北斎コレクション第3期
特集「夏休み浮世絵観察会①」

7月2日〔水〕－8月4日〔月〕



葛飾北斎《狐の嫁入図〔部分〕》〔永田コレクション〕
1844（天保15〔弘化元〕）年

日が照っているのに雨が降る気象・狐の嫁入を、数え85歳の北斎が描いた肉筆画です。

北斎コレクション第4期
特集「夏休み浮世絵観察会②」

8月6日〔水〕－9月8日〔月〕



葛飾北斎《百物語 さらやしき》
1831～32（天保2～3）年頃

皿を割った罪で井戸に投げ込まれたお菊さんの亡霊。よく見ると首が「皿」で表されています。

北斎コレクション第5期

9月10日〔水〕－10月13日〔月・祝〕



葛飾北斎《富嶽三十六景 凱風快晴》〔永田コレクション〕
1830～34（天保初期）年頃

繊細なぼかし摺が施され、山肌に板木の木目がうっすらと浮かぶ、稀少な初期の摺りです。

コレクション展示室2（「北斎展示室」）では、当館が誇る北斎コレクション・約1,600件の中から、北斎の錦絵・摺物・版本・肉筆画、約40点をご覧いただけます。（約1ヶ月ごとに全点展示替）。常に様々な分野・年代の北斎作品をご鑑賞いただける、世界的にも極めて珍しい展示室です。

展示室 1 水辺の展示室

第2期

7月2日〔水〕－8月18日〔月〕

当館が所蔵する「水を画題とする絵画」の名品を展示します。近世絵画・日本画は今年度、7期の展示、西洋絵画・洋画は通期展示（一部展示替えあり）の予定です。



ラウル・デュフィ《ニースの意図》1928年

第3期

8月20日〔水〕－9月29日〔月〕

展示室 1 西洋絵画 洋画

第1期 戦後80年

5月14日〔水〕－9月29日〔月〕

第2期 特集

小泉清—小泉八雲とセツの三男として生まれて

10月1日〔水〕－2026年4月13日〔月〕

今また注目を浴びている小泉八雲（ラファディオ・ハーン）とその妻セツ。彼らの間に生まれた小泉清は、類まれな色彩感覚をそなえた画家として知られています。当館コレクションを通して、その人となりを紹介します。



小泉清と母セツ（写真提供：小泉八雲記念館）



小泉清《立裸婦》1955～60（昭和30～35）年

展示室 4 写真

結成70周年記念 奈良原一高《無国籍地》と「グループ“実在者”」の仲間たち

4月17日〔木〕－7月14日〔月〕

ロバート・フランク／ウィリアム・クライン／森山大道

7月17日〔木〕－10月13日〔月・祝〕

1950年代の写真界に衝撃を与えたロバート・フランクとウィリアム・クライン。彼らの影響を受け日本の写真表現を刷新した森山大道。三人の代表作を展観します。



森山大道《地平線（何かへの旅・7）より》1971（昭和46）年 ©Daido Moriyama Photo Foundation

フランス19世紀の写真

10月16日〔木〕－2026年1月5日〔月〕

展示室 1 近世絵画 日本画

第2期 落合朗風

7月2日〔水〕－8月18日〔月〕

第3期

8月20日〔水〕－9月29日〔月〕

当館が所蔵する江戸時代の近世絵画、近代以降の日本画より、特に当館が誇る優品、島根県出身や来遊画家の作品など、島根ゆかりの美術を紹介いたします。



伊藤若冲《鶏図》1789（寛政元）年頃

展示室 3 工芸

島根の漆芸

7月2日〔水〕－8月18日〔月〕

小島漆壺斎らが手がけた江戸時代後期の茶道具から石村春莊らによる昭和時代の近代的な作品まで、地域ゆかりの漆芸作品をご紹介します。



石村春莊《八雲塗 蝶文盆》昭和時代

コレクションに見る いろいろな焼物

8月20日〔水〕－2026年1月12日〔月・祝〕

展示室 5 企画展

川端龍子展 第2会場

7月18日〔金〕－8月25日〔月〕

川端龍子展の第2会場。全長が28メートルにも及ぶ《逆説・生々流転》を中心に、最後の青龍展出品作《伊豆の霸王樹》までを展示します。



川端龍子《伊豆の霸王樹》1965（昭和40）年 大田区立龍子記念館蔵

展示室 5 彫刻

澄川喜一

8月28日〔木〕－11月24日〔月・振休〕



澄川喜一《そりのあるかたち97-1》1997（平成9）年

日本固有の造形「そり」と「むくり」を制作の根底に据え、生涯追求し続けた彫刻家・澄川喜一（1931-2023）。創作の軌跡を紹介します。

永田コレクションの全貌公開〈二章〉

北斎 —「葛飾北斎期」・「戴斗期」編

北斎研究者・故永田生慈氏（津和野町出身・1951〜2018）より寄贈された県外不出の「永田コレクション」より、北斎の「葛飾北斎期」と「戴斗期」（数え46〜60歳頃）の作品を公開します。北斎が当該期に挿絵を手がけた読本（長編小説）と絵手本など約500冊の版本を細大漏らさず展示！この両版本で第一人者となった北斎が魅せる、圧巻の「版本世界」をご堪能ください！



葛飾北斎『北斎漫画』1814(文化11)年 島根県立美術館蔵(永田コレクション)

2025年

前期 9月10日〔水〕→10月5日〔日〕
後期 10月8日〔水〕→11月3日〔月・祝〕

開館時間 [9月]10:00〜日没後30分(展示室への入場は日没時刻まで)
[10-11月]10:00〜18:30(展示室への入場は18:00まで)

閉室日 火曜日(ただし9/23は開館)、10/6(ただしコレクション展は観覧可)

オープニングセレモニー ご招待

参加無料 要事前申込

抽選で30名様を企画展「永田コレクションの全貌公開〈二章〉北斎―「葛飾北斎期」・「戴斗期」編」のオープニングセレモニーにご招待いたします。また当日抽選でテーブルカットにご参加いただけます。

日時 9月10日(水)9時10分〜
(受付8時45分/約20分)

会場 ロビー

特典 記念品(代表者のみ進呈)

申込方法

ハガキまたはFAXに必要事項をお書きの上、下記申込先にお送りください。

①お名前(ふりがな)②郵便番号・住所③電話番号 以上必須事項 ④FAX番号⑤同伴者のお名前(ふりがな)1名まで可

申込先

〔ハガキ〕〒690-0049 松江市袖師町1-5
島根県立美術館
「北斎」展
オープニングセレモニーご招待係
〔FAX〕0852-55-4714

申込締切 8月25日(月)当日消印有効

○申込多数の場合は抽選となります。
○お客様の個人情報、招待状の発送(郵送)以外には利用いたしません。
○当選者の発表は招待状の発送(2025年8月30日頃)をもってかえさせていただきます。(電話などでの個別のお問合せはできません。)

関連企画

オープニングセレモニー

参加無料 要事前申込

日時 9月10日(水)9時10分〜(受付8時45分/約20分)

会場 ロビー

特典 記念品(代表者のみ進呈)

▼申込方法は左記をご覧ください。

記念講演会①

聴講無料

「江戸後期の読本―文と絵が語る文学世界―」

講師 田中則雄氏(島根大学法文学部教授)

日時 9月21日(日)14時〜(30分前開場/約90分)

記念講演会②

聴講無料

「絵手本にみる北斎の魅力」

講師 根岸美佳氏(すみだ北斎美術館学芸員)

日時 10月18日(土)14時〜(30分前開場/約90分)

※いずれも会場はホール(190席・当日先着順)

スライドトーク

聴講無料

学芸員による本展の

みどころ紹介「前期編・後期編」

日時 「前期編」9月27日(土)、

「後期編」10月13日(月・祝)

各日14時〜(30分前開場/約60分)

会場 ホール(190席・当日先着順)

浮世絵摺り実演

見学無料

日時 9月23日(火・祝)

①10時30分〜

②13時30分〜(各回約60分)

会場 ロビー

ロビーコンサート

鑑賞無料

「ツインパロンとヴァイオリンで奏でる

「北斎の世界」

出演 ヒロシタ HIROSHINTA

(斉藤浩…ツインパロン&

水野慎太郎…ヴァイオリン)

日時 10月12日(日)①13時〜②15時〜
(各回約40分)

会場 ロビー

※座席数に限りがある為、立見で鑑賞いただく場合がございます。予めご了承ください

美術館キネマ

鑑賞無料

『八犬伝』(2024年/149分)

日時 9月14日(日)

①10時30分〜

②14時30分〜(各回30分前開場)

会場 ホール(190席・当日先着順)

Event イベント情報

●「川端龍子展」関連

〈美術館キネマ〉

「天心」鑑賞無料

(2013年製作/122分/DVD上映)



©2013 映画「天心」制作委員会

日時 7月26日(土)

①10:30～②14:00～

(各回30分前開場)

会場 ホール(190席/当日先着順)

監督 松村克弥

出演 竹中直人、平山浩行、中村獅童 ほか

法隆寺や興福寺の復興、東京藝術大学、日本美術院の創立に携わり「日本近代美術の父」といわれた岡倉天心(1863～1913)の没後100年の節目に、天心の半生を竹中直人主演で描いた人間ドラマ。

〈ワークショップ〉

「夏休みアート体験2025」

砂子でキラキラ★泡絵アートにチャレンジ!

参加無料 要事前申込

泡絵具で画面をいろいろ、キラキラとした箔によってきらめくミニアートの制作にチャレンジ!泡絵具と日本画の技法「砂子」を使って、あなただけのオリジナルアートを作ります。

日時 A 8月 8日(金) 10:15～12:15

B 8月 9日(土) 10:15～12:15

C 8月 9日(土) 14:00～16:00

D 8月10日(日) 10:15～12:15

E 8月10日(日) 14:00～16:00

(計5回実施/各回約120分)



「砂子でキラキラ★泡絵アートにチャレンジ!」※イメージ

対象 どなたでも(小学3年生以下は保護者同伴)

定員 各回12名

会場 美術館アートスタジオ

企画協力 島根大学教育学部美術科教育専攻

夏休みアート体験申込方法

件名にイベント名「夏休みアート体験」を明記の上、①氏名(ふりがな)・年齢、②住所、③電話番号、④希望回(第2希望まで可)を書き、下記アドレスへお申し込みください。

申込先 sam@pref.shimane.lg.jp

申込締切 7月22日(火)

参加通知 締切後3日以内に返信をお送りします。

※@pref.shimane.lg.jpを受信できるよう設定してください。

※お申込多数の場合は抽選となります。

※定員に満たない場合は、締切日以降でもお申込みを受け付ける場合がございます。

※お客様の個人情報は、当ワークショップの運営以外には利用いたしません。

お申し込みはこちら▼



こどもといっしょの鑑賞優先時間

かぞくの時間



「絵本とおでかけ展示室」

絵本のお話を聞いて、お話をヒントに作品鑑賞のお散歩に出かけます。

日時 毎月第3木曜日

(7月17日、8月21日、9月18日)

各日10:30～(約40分)

会場 キッズライブラリー、コレクション展示室

集合 キッズライブラリー(先着20名程度)

料金 コレクション展観覧料 一般300円、大学生200円、小中高生無料

※こころカード(アプリ)提示でお子様と来館の方4名までコレクション展観覧無料



毎日午前は「かぞくの時間」(10:00～12:00)

子どもたちにとって美術の楽しさ、芸術の喜びを分かちあえる場所となるよう、毎日午前中「かぞくの時間」を実施します。美術館でゆたかなひとときをお過ごしください。



島根県立美術館 子ども広報隊

参加無料 要事前申込

美術館で広報のお仕事体験ができます。広報担当として、制服を着て、美術館の魅力を発見、発信する体験をしていただきます。

日時 8月17日(日)10:30～11:30

対象 小学3・4年生

定員 3名程度



子ども広報隊申込方法

参加ご希望の方は美術館ホームページのお問い合わせフォームの各欄に必要事項を入力し、送信してください。

①氏名(フリガナ)※保護者の方の氏名を入力

②メールアドレス

③件名「子ども広報隊」

④ご意見・お問い合わせ欄

参加される児童様の「氏名(フリガナ)」、「学年・年齢」、「住所」、「電話番号(保護者の連絡先)」

お問い合わせフォーム お申し込みはこちら▶

申込締切 8月3日(日)

参加通知 締切後3日以内に返信をお送りします。



※shimane.art-museum@sps.sgn.ne.jpを受信できるよう設定してください。

※お申し込み多数の場合は抽選となります

※当日お写真を撮影し、当館の公式SNS等へ公開予定です

※お客様の個人情報は、当選・落選の連絡以外には、利用いたしません。

Gallery

ギャラリー展示のご案内

会 期	展 覧 会 名	内 容	問 合 せ 先
7月 9日(水) - 7月14日(月)	KUNIBIKI'25 全室	全国公募のアート展覧会。絵画・彫刻・イラストレーション・写真・その他の作品展示。	渡部 090-8061-8543
7月16日(水) - 7月21日(月)	第64回 島根新協展 2室	絵画作品の展示。	舟木 090-4103-1658
7月18日(金) - 7月21日(月)	第15回 模型の会「轍」作品展示会 1室	様々なジャンルのプラモデル作品の展示。	坂本 090-4576-3496
7月26日(土) - 8月24日(日) ※7月29日(水)、8月5日(水)、12日(水)、19日(水)は休館日	どうなってるの？ 錯覚のふしぎ展 1・2室	錯覚とは実際の形とは違ってみえてしまう現象のこと。絶対にだまされちゃうけど、楽しくて笑顔になれる不思議な世界へようこそ！ 有料	山陰中央新報社事業部 0852-32-3415
8月20日(水) - 8月25日(月)	松江写真作家協会写真展 3室	松江写真作家協会・川本写真教室 会員他の作品展示。	桂川 090-8999-1309
8月27日(水) - 9月 1日(月)	第28回 書友墨斎会書展 1・2室	書友師範会の会員による作品展示(漢字、かな、細字、近代詩文書)。	明正(めいしょう) 090-6848-3481
8月27日(水) - 9月 1日(月)	令和8年度 愛鳥週間用ポスター図案コンクール作品展 3室	小・中・高等学校及び特別支援学校の生徒が描いた野鳥の作品展。	島根県農山漁村振興課鳥獣対策室 0852-22-5160

○開室時間は通常10:00～18:00です。ただし、最終日は撤収のため閉室時刻が早まる場合があります。○観覧料は記載のない場合は無料です。有料の場合、ミュージアムパスポートはご使用いただけません。○ギャラリーは一般の方に貸し出ししているスペースです。展示利用をご検討の方は、美術館ギャラリー担当までご連絡ください。



湖畔のレストラン「RACINE」

ばけばけにちなんだ、ひんやり “雪女ソフトクリーム”

秋からスタートの朝の連続テレビ小説「ばけばけ」の怪談にちなんで、ちょっと怪しくて、冷たくてカワイイソフトクリームをご用意しました！
カップには「ばけばけ」のロゴ入りで、見た目も楽しさ満点♪



・雪女ソフトクリーム……700円(税込)

※ソフトクリームはテイクアウトのみのご提供です。
店内ではお召し上がりいただけませんのでご了承ください。

■営業時間 10:00～18:00(美術館開館時間に準じます) ■レストラン電話 0852-25-6562

※状況により閉店時刻が早まる場合があります。

■ランチ[11:00～15:00] ■ディナー[17:00～]※完全予約制

年間パスポート のご案内



当館主催の企画展、コレクション展を何度でもご覧いただけるほか、下記の6つの特典があります。ご利用の際は、各展示室前受付でパスポートを提示してください。
プレゼントとしても購入いただけます。

※ギャラリー(貸出施設)は主催者が異なるため別料金となります。

【会員特典】

企画展・コレクション展を何度でも
ご鑑賞いただけます。(購入日より1年間)

①企画展観覧料 **半額**
(同伴者2名様まで)

②ミュージアムショップでの
お買い物 **5%OFF**

③「美術館ニュース」や各展覧会のチラシをお届け(年4回)

④提携施設を割引料金でご利用いただけます。

足立美術館、植田正治写真美術館、愛媛県美術館、尾道市立美術館、サントリー美術館、島根県立石見美術館、島根県立古代出雲歴史博物館、とっとり花回廊、広島県立美術館、ひろしま美術館、広島市現代美術館、水木しげる記念館、山口県立美術館、山口県立萩美術館・浦上記念館

⑤レストランで
ソフトクリーム200円

⑥来館ポイント5つで
ワンドリンクサービス

年会費 一般3,000円 大学生1,800円 小中高生900円
購入は美術館総合受付(パスポート窓口)までお越しください。

有効期限内に継続購入された場合、**無料観覧券を1枚進呈**いたします。

最新の情報は美術館ホームページ、SNSでお知らせします。

ミュージアムショップ

Museum Shop

「川端龍子展」関連グッズを販売

ミュージアムショップでは「川端龍子展」開催に合わせて、公式展覧会図録(2,420円税込)を販売しています。
このほか、展覧会とあわせて楽しめる関連グッズを販売中です。
ぜひ店頭で商品をご覧ください。



オンラインショップ

<https://www.sam-museumshop.shop/>



島根県立美術館メールマガジンEニュース

配信をご希望の方は件名に「メールマガジン配信希望」と記載の上、美術館ホームページのお問い合わせフォームよりお申込みください。



島根県立美術館



〒690-0049 島根県松江市袖師町1-5
TEL0852-55-4700 FAX0852-55-4714
<https://www.shimane-art-museum.jp>